

経費と投資の管理にかかるプロセスを再構築(BPR)  
 FMIにかかるコスト掌握を目論見とした仕組みを構築  
 「ファシリティ」の管理情報と企業会計の連携  
 これらを経営基盤の一角へ位置付けるのに必要としたのは..

## 共通化

- ・ 業務プロセスを共通(標準)化
- ・ グループ内エンティティでの共用

## 内部統制

- ・ 内部統制改善・充実
- ・ セキュリティスタンダード準拠

### 1. 企業経理(財務/管理会計)の重視

～ まずはファシリティに拘らず、財務会計や管理会計の範囲を重視

### 2. 管理単位の設定

～ ファシリティベースを主眼とするも、企業としての管理体系に整合

### 3. 「見える化」から「見せる化」

～ 自部門が「見える」のみならず、かかわる全部門に「見せる」こと

## リアルタイム

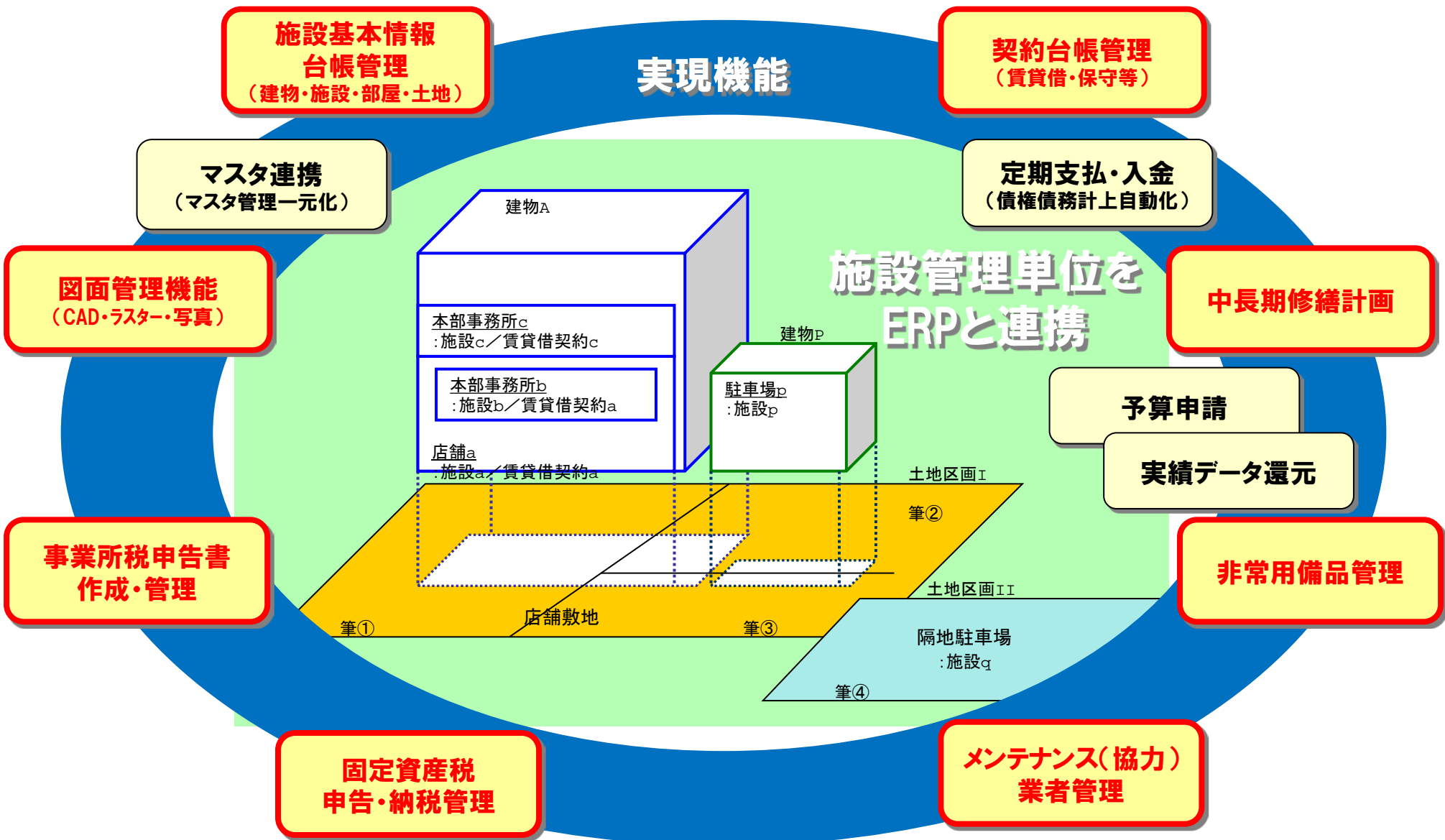
- ・ 業務プロセススリム化、STP\*化
- ・ 発生主義会計へのシフト

## 集中化

- ・ システムとデータの一元化
- ・ バックオフィスへの事務集中

企業会計(財務/管理)と  
 施設管理の一体化

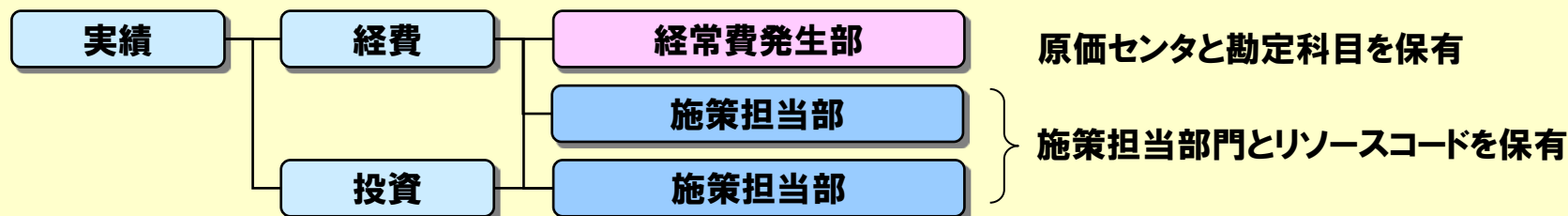
\* Straight Through Processing



## 管理会計単位と施設運用コストを一体化

### ○ 一次原価：施策担当部門(原価センタ) or リソースコード(目的別)

経常費は発生部門、施策費は施策担当部へ賦課



### ○ 二次原価：受益部門(原価センタ)

施設運用コストは面積按分され、受益部門のコストとして賦課

一次原価

	光熱費	賃料	償却	
物件R	100	200	300	R支店とSセンター
営繕投資X	200	300	400	R支店、Sセンター、T部
施策M	300	400	500	Sセンター、T部

Total: 2,700

二次原価

	部門コスト
R支店	350
Sセンター	1,050
T部門(本部)	1,300

Total: 2,700

### 効果極大化

- ・ ボリュームメリットによる経費削減
- ・ 効果極大化サイクルの継続 (集中→削減→集中拡大・・・)

### 高度化

決済処理の高度化による  
更なる事務処理コスト削減

### グループ一元化効果

- ・ 同一カテゴリシステムのTCO削減
- ・ シェアードサービス集約による事務処理コスト削減